

ポーター壁紙一覧

ポーター壁紙は、両端を化粧断ちしてありますのでそのままご使用いただけます。
1本10m巻ですので、本単位でご注文ください。施工費は割増になりますのであらかじめご了承ください。



LV-3627
防火種別 2-3 準不燃
↕32cm
巾10.5cm×10m巻/本売 4,400円/本
防かび



LV-3632
防火種別 1-4 不燃 準不燃
↕33.5cm
巾10.5cm×10m巻/本売 4,400円/本
防かび



LV-3637
防火種別 1-4 不燃 準不燃
↕32cm
巾12cm×10m巻/本売 4,400円/本
防かび



LV-3642
防火種別 2-3 準不燃
↕32cm
巾11cm×10m巻/本売 4,700円/本
防かび



LV-3628
防火種別 1-4 不燃 準不燃
↕32cm
巾13.5cm×10m巻/本売 5,500円/本
消臭 抗菌 防かび



LV-3633
防火種別 1-4 不燃 準不燃
↕33.5cm
巾10.5cm×10m巻/本売 4,400円/本
防かび



LV-3638
防火種別 1-4 不燃 準不燃
↕32cm
巾12cm×10m巻/本売 4,400円/本
防かび



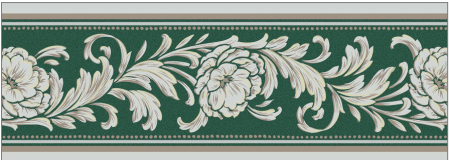
LV-3643
防火種別 1-4 不燃 準不燃
↕21.5cm
巾13.5cm×10m巻/本売 5,000円/本
防かび



LV-3629
防火種別 1-4 不燃 準不燃
↕32cm
巾13.5cm×10m巻/本売 5,500円/本
消臭 抗菌 防かび



LV-3634
防火種別 1-4 不燃 準不燃
↕21.5cm
巾11cm×10m巻/本売 4,400円/本
防かび



LV-3639
防火種別 1-4 不燃 準不燃
↕32cm
巾12cm×10m巻/本売 4,400円/本
防かび



LV-3644
防火種別 1-4 不燃 準不燃
↕21.5cm
巾13.5cm×10m巻/本売 5,000円/本
防かび



LV-3630
防火種別 2-3 準不燃
↕32cm
巾10.5cm×10m巻/本売 4,400円/本
防かび



LV-3635
防火種別 1-4 不燃 準不燃
↕21.5cm
巾11cm×10m巻/本売 4,400円/本
防かび



LV-3640
防火種別 1-4 不燃 準不燃
↕32cm
巾12cm×10m巻/本売 4,400円/本
防かび



LV-3645
防火種別 1-4 不燃 準不燃
↕32cm
巾13cm×10m巻/本売 5,000円/本
防かび



LV-3631
防火種別 1-4 不燃 準不燃
↕32cm
巾11cm×10m巻/本売 4,400円/本
防かび



LV-3636
防火種別 2-3 準不燃
↕16cm
巾9.5cm×10m巻/本売 3,800円/本
防かび



LV-3641
防火種別 1-4 不燃 準不燃
↕32cm
巾12cm×10m巻/本売 4,400円/本
防かび

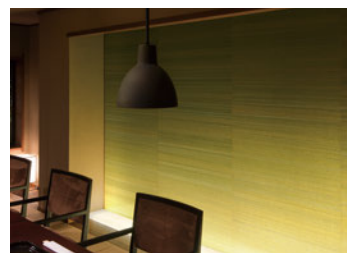


LV-3646
防火種別 1-4 不燃 準不燃
↕21.5cm
巾16cm×10m巻/本売 5,500円/本
防かび

リリカラ・ジョイナー 特殊掛率

- 取り付けが簡単な壁面用の見切り材です。
- 壁紙のジョイント部分が美しく仕上がります。
- シンプルなデザインで、様々な用途にご使用いただけます。
- アクセント使いや張り分けなど、高級感のある演出に最適です。

施工要領書は別途ご用意しています。
詳細はリリカラサイトからご覧ください。



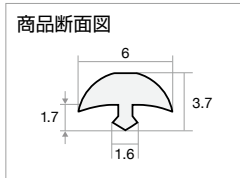
平面用ジョイナー(90305)施工例

平面用

ジョイナー



90301 ホワイト 90302 ライト木目 90303 ダーク木目 90304 シルバー 90305 ゴールド



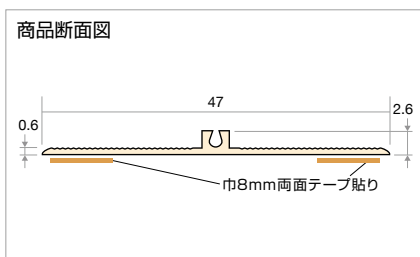
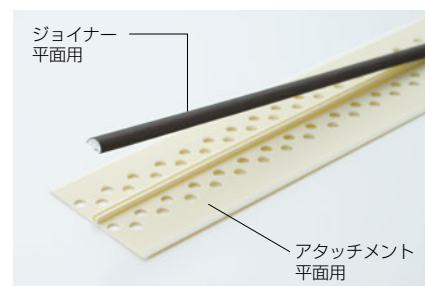
ジョイナー
90301~90305

特殊掛率 1,100円/本
巾6mm×高さ3.7mm×長さ1400mm/本売
素材: ABS樹脂

アタッチメント



穴開きタイプ



アタッチメント
90311

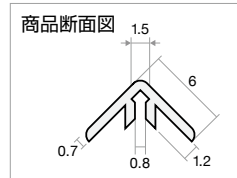
特殊掛率 600円/本
巾47mm×高さ2.6mm×長さ1800mm/本売
素材: 塩化ビニル樹脂

出隅用

ジョイナー



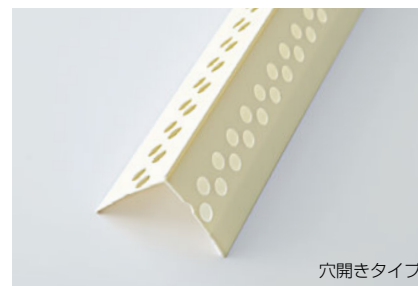
90306 ホワイト 90307 ライト木目 90308 ダーク木目 90309 シルバー 90310 ゴールド



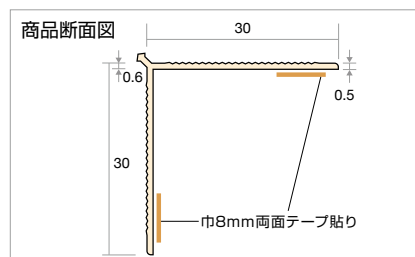
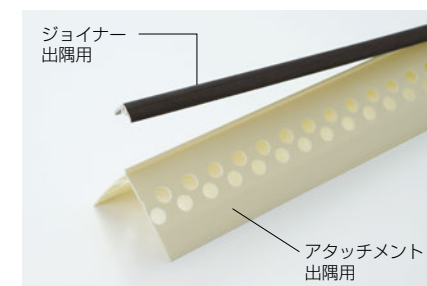
ジョイナー
90306~90310

特殊掛率 1,200円/本
巾6mm×6mm×長さ1400mm/本売
素材: ABS樹脂

アタッチメント



穴開きタイプ



アタッチメント
90312

特殊掛率 700円/本
巾30mm×30mm×長さ1800mm/本売
素材: 塩化ビニル樹脂

防火認定制度について

防火材料と防火壁装材料について

■防火材料とは、不燃、準不燃、難燃の性能区分に応じて国土交通大臣が定めた材料または認定した材料のことです。

- ①国土交通大臣が定めた材料とは、建築基準法令等に基づいて告示に具体的な名前をあげて防火性能があるとされた材料です。
- ②国土交通大臣が認定した材料とは、法令等に基づいて国土交通省の指定する性能評価機関で評価し、防火性能があると国土交通大臣から認められた材料です。

■防火壁装材料とは、国土交通大臣の認定を受けた壁紙のことです。但し、壁紙・下地・施工方法の組合せによって得られた防火性能により認定を受けておりますので、同じ壁紙でも、下地や施工方法によって防火性能が異なる場合があります。また、防火壁装材料としての性能確認は、告示（上記①）に示された防火材料との組合せで行なわれておりますので、下地基材は国土交通大臣が定めた防火材料で、且つ認定仕様に定められた内容・施工方法である必要があります。

※下地となる防火材料・告示についての詳細は別冊資料をご参照ください。

防火性能一覧表

■下表は、当見本帳収録の防火認定壁紙における、施工下地・施工方法との組合せによって得られる防火性能・防火種別を示したものです。

※防火種別とは、防火管理を目的として日本壁装協会が分類し設定した番号です。

防火種別	下地別の防火性能（施工方法：直張り）				収録商品の内訳	商品数
	不燃材料	不燃石膏ボード	準不燃材料	金属板		
1-4	不燃	不燃	準不燃	不燃	ビニル壁紙（ボーダー壁紙）	16
2-3	準不燃	準不燃	準不燃	—	ビニル壁紙（ボーダー壁紙）	4
					ビニル壁紙（一般壁紙）	626

■壁紙との組み合わせで防火認定取得可能な施工下地の代表例

不燃材料…………… 厚さ5mm以上の繊維混入ケイ酸カルシウム板、モルタル

不燃石膏ボード… 厚さ12mm以上の石膏ボード

準不燃材料…………… 厚さ9mm以上の石膏ボード

金属板…………… アルミニウムを除く金属板

当見本帳非収録品の防火性能一覧・詳細については別冊資料をご参照ください。

防火壁装材料の認定共同管理について

日本壁装協会において防火壁装材料の「認定共同管理」を開始しています。「認定共同管理」とは、これまでの製造会社や販売会社が取得した防火認定《企業個別認定》とは別に、日本壁装協会が新たに防火認定を取得し、壁紙業界が共同で防火上の品質管理を行なうもので、「類似認定の集約・合理化」「品質やコンプライアンスの更なる向上」を目的としています。

当見本帳収録のビニル壁紙は全てこの《共同認定》となっておりますが、それ以外の壁紙では、今後認定の集約・合理化に伴い、商品の防火認定番号及び防火種別が変更になる場合がありますので、日本壁装協会の「壁紙品質情報検索システム」で最新の情報をご確認ください。

<https://www.wacoa.jp/Hekisou/>

日本壁装協会

検索

内装制限一覧表

建築基準法施行令第128条の3の2、第128条の4、第129条及び第112条、第128条の3等の内装制限に関する部分を要約一覧表としたもの。

特殊建築物等		対象となる規模等				制限	
		耐火建築物	準耐火建築物（イ）	準耐火建築物	その他の建築物	居室等	通路・階段等
特殊建築物	1	劇場、映画館、演芸場、観覧場、公会堂、集会場	客席の床面積の合計が400㎡以上のもの	客席の床面積の合計が100㎡以上のもの		壁・天井とも準不燃以上※2	壁・天井とも準不燃以上※2
	2	病院、診療所（患者の収容施設があるものに限る）、ホテル、旅館、下宿、共同住宅、寄宿舎、児童福祉施設等（幼保連携型認定こども園を含む。以下同じ）、その他これらに類するもので政令に定めるもの	3階以上の部分の床面積の合計が300㎡以上のもの〔100㎡（共同住宅は200㎡）以内に防火区画されたものは除く〕	2階の部分の床面積の合計が300㎡以上（病院、診療所については、その部分に患者の収容施設がある場合に限る）のもの	床面積の合計が200㎡以上のもの	壁・天井とも準不燃以上（床面上1.2m以下除く）※2	壁・天井とも準不燃以上※2
	3	百貨店、マーケット、展示場、キャバレー、カフェ、ナイトクラブ、バー、ダンスホール、遊技場、公衆浴場、待合、料理店、飲食店又は物品販売業を営む店舗（床面積10㎡以内は除く）	3階以上の部分の床面積の合計が1,000㎡以上のもの	2階の部分の床面積の合計が500㎡以上のもの	床面積の合計が200㎡以上のもの	壁・天井とも準不燃以上※2	壁・天井とも準不燃以上※2
	4	自動車車庫、自動車修理工場、映画スタジオ又はテレビスタジオ	全 部			壁・天井とも準不燃以上※2	壁・天井とも準不燃以上※2
	5	地下又は地下工作物内に上記1、2、3の用途の居室を有するもの	全 部			壁・天井とも準不燃以上※2	壁・天井とも準不燃以上※2
建築物の規模	6	階数が3以上で延べ面積が500㎡を超えるもの	学校等（※1）を除く。耐火建築物又は準耐火建築物（イ）の高さ31m以下で100㎡以内に防火区画された特殊建築物に供さない居室を除く。本表2欄の高さ31m以下の部分には適用しない。			難燃以上壁（床面上1.2m以下除く）天井とも※2	壁・天井とも準不燃以上※2
		階数が2で延べ面積が1,000㎡を超えるもの					
		階数が1で延べ面積が3,000㎡を超えるもの					
無窓	7	窓その他の開口部を有しない居室（天井の高さ6mを超えるものを除く）	床面積が50㎡を超える居室で窓等開放できる部分（天井から下方80cm以内の部分に限る）の面積の合計が床面積の1/50未満のもの	壁・天井とも準不燃以上※2		壁・天井とも準不燃以上※2	壁・天井とも準不燃以上※2
			温湿度調整を必要とする作業室等（法第28条第1項）				
調理室等	8	調理室、浴室その他の室で、かまど、こんろ、その他火を使用する設備又は器具を設けたもの	主要構造部を耐火構造としたものを除く	階数2以上の住宅（事務所、店舗兼用を含む）の最上階以外の階に火を使う設備を設けたもの	壁・天井とも準不燃以上※2		
			住宅以外の建築物の火を使う設備を設けたもの				

〔除外規定〕上表各欄の制限は、スプリンクラー等自動式のもの及び令第126条の3の規定に適合する排煙設備を設けた部分には適用されません。

防火区画	9	建築物の11階以上の部分200㎡以内に防火区画された共同住宅住戸には適用しない	100㎡以内に防火区画	設置すれば区画は2倍に拡大できる			
			200㎡以内に防火区画（特定防火設備とすること）		壁・天井とも準不燃以上	壁・床面上1.2m以下除く	
			500㎡以内に防火区画（特定防火設備とすること）		壁・天井とも不燃		
	10	地下街	100㎡以内に防火区画				
			200㎡以内に防火区画（特定防火設備とすること）		壁・天井とも準不燃以上	壁・床面上1.2m以下除く	
			500㎡以内に防火区画（特定防火設備とすること）		壁・天井とも不燃		

（2019年1月28日施行）

- ①回り縁、窓台、その他これらに類するものは内装制限から除かれています。
- ②法令の定めによって設けられる避難階段、特別避難階段は、下地とも不燃材で仕上げることとなります。
- ③内装制限の適用が重複してかかる場合は、法令で規定ある場合を除いては制限の厳しい方が適用されます。
- ④この一覧表は概要をまとめたものですから、詳細は法令の本文を参照してください。
- ⑤都道府県では条例で独自の内装制限を定めているものもあります。各自治体に確認してください。

※1 学校、体育館、ボーリング場、スキー場、スケート場、水泳場又はスポーツ練習場。

※2 その仕上げに準ずるものとして国土交通大臣が定める方法により国土交通大臣が定める材料の組合せによってしたもの。

取扱上のご注意

以下の内容は、壁紙全般についてのごく一般的な注意事項です。詳細については、別冊資料をご参照ください。

商品選択上のご注意

- 建築物の内装仕上げは、建築基準法により防火上の基準が定められており、建築物の用途や規模・構造に応じて防火材料の使用が義務づけられています。壁紙の防火性能は、下地基材や施工方法との組合せによって決まりますので、事前に必ずご確認ください。
- 柄合わせを要する商品は、リピート表示のない商品よりも要尺が多くなります。なお、商品は施工糊の水分や温湿度によって伸縮するため、表示寸法と実際の商品では多少の差異が生じます。表示寸法は要尺を算出するための目安としてご覧ください。
- 製造ロットの違いにより、見本やサンプル帳と実際の商品が若干異なる場合があります。なお、施工例写真は、照明の影響や印刷の都合上、実物と多少違って見える場合がありますので、ご了承ください。
- ビニル壁紙は、リピート表示のない商品でも基本的にある単位の同じ柄の繰り返しで出来ています。このため、見る角度や光の当たり方によって微妙な凹凸の繰り返しが目立つ場合があります。これは製法上の特徴であり、現在の技術では完全に防ぐことはできません。
- 表面の凹凸が少ない商品は、ジョイント部が比較的に目立ちやすい傾向があります。これは、塗装と異なり、つなぎ合わせて施工する壁紙である限り避けることのできない商品特性です。あらかじめご了承ください。
- 改良その他の事情により、予告なく仕様変更を行なうことがあります。また、生産中止などにより供給不能となる場合があります。あらかじめご了承ください。

商品確認と保管上のご注意

- 受領時には、納品書と商品現品、ロット、数量を確認してください。万一、ご注文品と違う品番や規格外の商品が納入された場合は、購入先へご連絡ください。
- ロット違いでは色差が生じる場合がありますので、同一ロット品を使用し、できれば一巻の至近の箇所同士を張り合わせてください。
- 商品はタテ置きで保管してください。ヨコ積みや井桁積みは置き跡がつきやすく、光沢差やエンボスつぶれの原因となります。



施工上のご注意

以下の内容は、壁紙全般についてのごく一般的な注意事項です。特に注意の必要な商品については、各商品の施工要領をご参照ください。

下地の調整

- 必ず下地と同色のパテをご使用ください。下地と異なる色のパテでは、施工後、下地の色が透けて見える場合があります。また、下地からの影響を防ぐために文字や汚れはきれいに落としてください。
- 施工後の不陸を防ぐため、下地は平滑に仕上げてください。また、ネジ・クギ類は施工後の変色を避けるため、突起を完全に沈め、サビ止めをしてください。

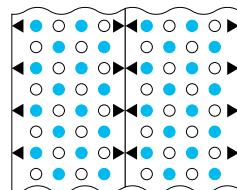
- ペンキ・コンクリート・モルタル・木質系下地の場合は、それぞれ専用のシーラーで必ず下地処理をしてください。特にベニヤなどの木質系下地に直接施工した場合、時間がたつとシミや変色の原因になります。シーラーは接着不良や変色を防ぎ、リフォーム時に剥がしやすくします。
- コンクリートやモルタルなどの湿式下地、およびシーラー、パテを施した箇所は十分に乾燥（目安として水分率11%以下）してから施工を開始してください。乾燥が不十分な場合、壁紙の変色・剥がれ・カビが発生することがあります。
- オイルステイン、ニスなどを使用している下地や近接した場所への施工は避けてください。変色の原因になります。
- 張り替え時、下地にカビが発生している場合は、十分にカビを殺菌し、乾燥させてから施工してください。
- 張り替え時、下地面に残った裏打紙（残紙）は剥がしてから施工してください。残紙が浮いたまま施工すると目隙などの原因になります。

施工糊と施工環境について

- 冬期など低温時には壁紙が硬くなり施工しにくくなる傾向があります。状況に合わせて接着剤の配合やうませ時間を調整したり、部屋を暖めるなどの配慮をお願いします。特に5℃以下の環境では糊の接着力が弱く、施工不良の原因になりますので、施工糊の注意事項を必ず守ってください。
- 壁紙の品種や室内環境に応じて、適切なオープンタイムを取ってください。施工を容易にするとともに、フクレの発生を防ぎます。また、壁紙をきつく折りたたんだり、湾曲部に荷重がかからないようにしてください。折れジワが発生し、元に戻らない場合があります。

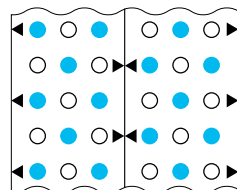
張り付け

- 壁紙は必ず有効巾でご使用ください。重ねしろは有効巾に含まれません。有効巾を超えた使用は、左右色違いの原因となります。
- 柄合わせを要する商品は、柄合わせマーク同士を目安に、柄を確認しながら施工してください。なお、商品特性上、左右の柄合わせマーク位置の僅かなズレや柄合わせマークがない場合があります。ご了承ください。
- 「無地貼可」表示は、柄合わせする方が美しく仕上がりますが、柄合わせしなくても柄のズレが比較的に目立ちにくい商品を意味しています。
- 「ステップ柄合わせ」は、一般的な平行合わせとは合わせ方が異なりますので、ご注意ください。



◀ 平行柄合わせ

一般的な柄合わせ方法で、左右の平行位置にジョイントマークがあります。柄の繰り返しがあり気にならない、小さな柄で多く採用されています。



◀ ステップ柄合わせ

正式には1/2ステップ、もしくは、ハーフステップと呼び、タテリート寸法を半分ずらした位置にジョイントマークがあります。柄の繰り返しが目立つと不自然に感じやすい大きな柄で採用され、半分ずらすことによって、より自然に見えるように配慮された方法です。

- ジョイント位置は、端部同士で施工してください。両端部と中央部では、色差が生じる場合があります。また、窓の上下など一部だけを横張りをすると、色違いが生じますので、必ず同じ方向で張ってください。
- ジョイント部をカットする際は、目隙を防ぐため、必ずカッターの刃をまっすぐに入れてください。また、地べらを使った重ね切りは避け、定規をご使用ください。地べらを使うと切り口が斜めになり目隙の原因になります。
- 表面の凹凸が少ない商品はジョイントが比較的に目立ちやすい意匠特性があります。突き付け施工でジョイントが目立ちやすい場合は、重ね断ち施工をおすすめします。
- 石膏ボード下地の場合、カットの際は下敷きテープをご使用ください。カッターで石膏ボードの原紙まで切り込むと目隙の原因となります。また、ボードの継ぎ目付近ではジョイントしないでください。仕上がり支障をきたすことがあります。
- ベニヤなどの木質下地に重ね断ち施工する場合、カッターでシーラー塗布面を傷つけるとアクのしみ出しによる変色の原因になりますので、カットの際は下敷きを使用してください。もしくは突き付け施工をおすすめします。
- 商品検査には十分配慮しておりますが、念のため三巾ほど施工した時点で問題のないことをご確認ください。明らかに製品に欠陥があると判断された場合には、ただちに作業を中断し当社までご連絡頂けますようお願い申し上げます。三巾以降相当量の作業を進行した場合、施工費賠償の請求、商品の返品等は原則としてお受けいたしかねますのでご了承ください。
- ボードやパネル下地の継ぎ目をまたいで壁紙を施工すると、入隅にフクレやよじれ・割れなどが発生する場合があります。これは、建物の構造上継ぎ目が振動の逃げ場になっているためで、避けることは出来ません。できるだけ入隅で壁紙をジョイントすることをおすすめします。

養生

- 粘着性の強いマスキングテープの使用は避けてください。テープの粘着剤が壁紙に固着し、変色や汚れの原因になります。また、テープを剥がす時に壁紙表面が破損する恐れがあります。
- 壁紙の表面や廻り縁などに糊、汚れがつかないようにご注意ください。拭き取る際は、きれいな水に頻繁に替えながら濡れスポンジで丁寧に拭き取り、更にきれいなタオルで拭き取ってください。特に濃い色の壁紙の場合は、やさしく丁寧に拭き取った後、乾拭きせずに自然乾燥させてください。乾拭きで強くこすると傷や白化が起きやすくなります。また、糊が付着したまま放置すると、カビや変色の原因になります。
- 施工後は、接着剤が安定するまで自然乾燥させてください。その間、冷暖房を強くかけ過ぎないようにお願いします。急速に乾燥させると剥がれ・めくれなどの原因になります。
- 施工中および施工後一週間程度は、換気を十分に行なってください。換気が十分でないと、室内に臭いが残る場合があります。

廃棄上のご注意

- ビニル壁紙の残材やサンプル帳を焼却しないでください。燃やすと塩化水素ガスなどが発生し、目・粘膜などを刺激しますのでご注意ください。
- 壁紙の残材やカタログを処理する場合は、許可を受けた産業廃棄物処理業者に処分を委託してください。少量の残材を一般廃棄物（家庭ゴミ）として処理する場合は、市町村条例に基づき処分してください。なお、業者の方が廃棄する場合には産業廃棄物となりますのでご注意ください。

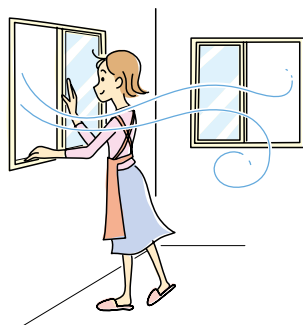
使用上のご注意 —メンテナンスと快適な住まい—

壁紙は色や柄などの意匠性を重視した化粧仕上げ材ですから、コンクリートなど他の建材と異なり、10～20年といった長期間にわたる維持は期待できません。したがって、ある程度の期間はメンテナンスを行ない、次いで張り替えるという使い方が、壁紙の価値を活かす最適の方法です。壁紙は室内のホコリや油汚れ・手垢などにより自然と徐々に汚れていきます。仕上がり的美しさを維持していただくためにも、使用上の注意とメンテナンスにご配慮ください。壁紙の耐用年数は、使い方次第で大きく異なってくるものです。

一般的注意事項

●入居後は、まず換気を

施工時の臭いが残っている場合がありますので、入居後一週間程度は十分に換気を行なってください。



●直射日光からの保護

直射日光が当たると、紫外線により色褪せがしやすくなります。部屋を使用していないときは、カーテンやブラインドを活用し、直射日光を避けるよう心がけてください。

●高温・熱風を避ける



ストーブなど暖房器具の熱風が直接壁紙に当たらないようにしてください。また、キッチンのレンジやダウンライトのすぐ近くなど、高温になる場所への使用は避けてください。熱により壁紙が変形、変色することがあります。

●粘着テープを貼らない

粘着テープ（セロハンテープやガムテープなど）を壁紙に貼らないでください。テープの粘着剤が壁紙に移行し、変色や汚れの原因となります。また、粘着テープを剥がす時に壁紙が破損することがあります。



●薬品や化粧品などを付着させない

スプレー式の薬品、殺虫剤、化粧品を壁紙に吹き付けしないでください。壁紙が変色することがあります。

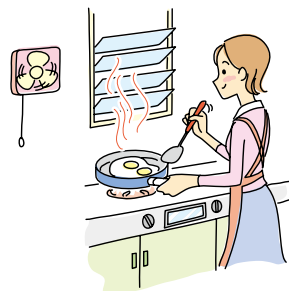


●家具を壁面に密着させない

家具の塗料に含まれる色素やベニヤの色素により、壁紙が変色することがあります。家具と壁紙の間は空間の余裕をとってください。空間を設けることは、変色だけでなく結露やカビの予防にもなります。

●室内空気の汚れについて

室内空気の汚れ（ホコリ、タバコ、キッチンからの油煙など）は、壁紙を短時間で黄変させてしまいます。特に壁紙のジョイント部は、壁裏面との通気口となりやすく、壁紙表面と比較し空気の流れが集中するため汚れが目立つ場合があります。できるだけ室内の換気を心がけてください。



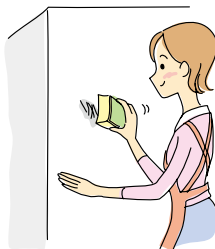
ホコリや汚れ

ホコリは、時々ハタキをかけたり、電気掃除機などで吸い取ってください。ホコリや汚れを放置しておきますと、湿気や油分を吸って取りにくくなりますので、長時間放置しないようにご注意ください。汚れは多種多様なものがあり、種類や放置時間によって除去できない場合があります。

●汚れが付着したら《一般ビニル壁紙の場合》

ビニル製の壁紙は、一般的に吸湿性や通気性がほとんどないので、シミやホコリには強く、手垢や油汚れには比較的弱いというのが特徴です。数ある壁紙の素材の中でもメンテナンス性に優れた部類にあり、軽い汚れなら水拭きや洗剤で落とすことができます。但し、表面にフィルム加工された汚れ防止壁紙と異なり、クレヨンや水性ペンなどの頑固な汚れは落とせません。

飲食物や調味料などの水汚れは、直ちにたたく絞ったスポンジやタオルで汚れを吸い取るように拭き取ってください。最初から強くこすると、汚れが染み込んだり広がる場合がありますので注意しましょう。落ちにくい場合には中性洗剤をご使用ください。出来るだけ早急に対処することが汚れを落とすコツです。拭き掃除が終わりましたら、必ず真水かぬるま湯で洗剤が残らないようきれいに拭き取ってください。洗剤の拭き残しは変色の原因になります。



※強い洗剤やシンナーなどの有機溶剤は、変色や表面破損の原因になりますので使用しないでください。
※張り合わせ部分に水が入ると剥がれの原因になりますのでご注意ください。
※壁紙を拭く場合はあまり強くこすらないでください。壁紙表面が破損することがあります。

●汚れが付着したら《汚れ防止壁紙の場合》

「汚れ防止」壁紙は、表面のフィルム加工により壁紙内部に汚れが浸透しにくく、汚れが拭き取りやすくなっています。日常生活の一般的な汚れ・飲食物の汚れなら水や中性洗剤で落とせます。日常生活の汚れは、たたく絞ったスポンジやタオルで水拭きしてください。落ちにくい場合は中性洗剤をご使用ください。歯ブラシでこするとより効果的です。

強い洗剤や溶剤の種類によっては変色を起こすことがありますので、念のためあらかじめ目立たないところで試してからにしましょう。壁紙表面に残った洗剤は変色の原因になりますので、真水かぬるま湯できれいに拭き取ってください。

※張り合わせ部分に水が入ると剥がれの原因になりますのでご注意ください。
※表面のフィルムが破損すると、その部分の汚れ防止機能は失われます。拭き取る場合はできるだけ柔らかい布やブラシなどをご使用ください。また、何度も拭き取ることで目に見えない微細な傷がつき、次第に汚れ防止性能は低下していきます。あらかじめご了承ください。
※汚れ防止機能は、突発的な飲食物の付着や落書きをすぐ拭き取るには適していますが、タバコのヤニのように少しずつ蓄積していくつこい汚れを完全に除去することは困難です。できるだけ換気を行い、汚れが付かないよう心がけましょう。



部分的な剥がれのメンテナンス

時間の経過と共に部分的な剥がれが生じる場合があります。きれいに補修するコツはできるだけ早く対処することです。剥がれてから時間が経ったものや、劣化して固くなったものは補修が困難になります。剥がれが広がる前に下地の汚れを取り去り、木工用水性接着剤など強めの接着剤を壁紙裏面に塗り付け、十分圧着してください。特に部屋のコーナー部、サッシや水のかかりやすい洗面台の周囲、通気の悪い箇所などは注意しておきましょう。このような場所には、あらかじめコーキングで枠回りをコーキングしておけば、ある程度剥がれを防ぐことができます。



カビ

カビは見た目の悪さの問題だけでなく、アレルギーや喘息など、病気の原因になることがありますので注意が必要です。カビの発生や繁殖を抑制する「防かび」壁紙もありますが、壁紙単体でカビの発生を防ぐことは不可能です。カビは住宅の構造や生活環境に大きく影響を受けます。常に換気を心がけ、通風を良くし、湿度の上昇をおさえてください。

●カビが発生したら…

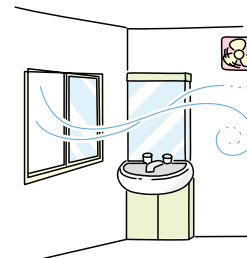
カビが大量に発生してしまった場合は、ハウスクリーニング会社などに相談ください。

結露

結露や過度の湿気は、シミ・剥がれ・カビの原因となりますので、室内の換気や湿度調整を心がけてください。

●換気・除湿を行なう

常に換気を心がけ、発生した水蒸気を外へ排出してください。特に浴室や調理時の水蒸気などは換気扇を利用して排出してください。除湿機、吸湿剤などを活用し、余分な水蒸気を除去することも有効です。



●通気をよくする

家具裏などの隙間に余裕を取り、家全体の空気の流れをよくする工夫をしてください。

●冬の結露について

室内と外気の温度差が激しい冬は結露しやすい時期です。加湿器を使用した後は特に結露しやすくなります。換気や除湿に十分に注意しましょう。外に面した室内の壁が異常に結露する場合は、断熱材の不足や不備、建物自体の構造の問題が考えられますので、早めに対処しましょう。